

受付番号

13

許可番号

大歯医倫 第 111108 号

研究課題名

デクスメドトミジン塩酸塩の使用に対する当院における 15 年間の実態調査

研究責任者

大下 修弘

申請者

大下 修弘

研究終了日

2022 年 3 月 31 日

所属

歯科麻酔学講座

所属

歯科麻酔学講座

職名

講師

職名

講師

申請の概要

デクスメドトミジン塩酸塩 (Dexmedetomidine Hydrochloride: Dex) は、2004 年に発売され、集中治療室での鎮静管理に使用されていたが、2013 年には、局所麻酔下における非挿管での手術および処置時に使用できるようになった。歯科麻酔学会の報告数も、発売時の 2004 年と適応が広がった 2013 年とで、二峰性を示している。このように発売 15 年間で、用途が広がったことにより、当院でも使用症例や使用量にも変化が認められると思われる。

当院における過去 15 年間の使用症例、患者背景 (年齢、性別)、初期負荷の有無、初回投与量、併用薬、麻酔時間、副作用及び術後鎮痛剤の必要性をカルテ及び麻酔記録にてわかる限り調査し、Dex の使用法と使用時のメリット・デメリットを分析する。さらに 2013 年から歯科症例での適応が承認されたあと、呼吸抑制や循環抑制などの副作用をできる限り少なくし、患者を安全に帰宅させるなど使用時の工夫も考慮されていることも含めて、Dex の有用性を検討する。